

Monthly Report Iwanami & Chijiwa Lab.

March 2022



Writer; Kenmana OKUDA (M1)



CONGRATULATIONS ON YOUR GRADUATION!
ご卒業おめでとうございます！
満開の桜に恵まれた卒業式日和となりました！

Introduction of Graduates

2人の博士学生、8人の修士学生、
5人の学士学生がご卒業されました。
5人の学士学生と坂本さんは進学した
ため、引き続き研究室に在籍します！





学位記授与式



坂本さん



山口さん



Lidaさん



宮村さん



高橋さん

3名の研究室メンバーが受賞しました！！



学士論文優秀賞を受賞した田中くん



修士論文優秀賞を受賞した井上さん



優秀学生賞を受賞した島崎さん

本当におめでとうございます！！





最後はみんなで記念撮影！！コンクリートのC！

この後は吉井さんの留学体験記（後編）をお送りします！

イタリア滞在録 (後編)

岩波研M2の吉井です。
前号の月報に掲載の“前編”に続く“後編”です。読んで頂けると幸いです。

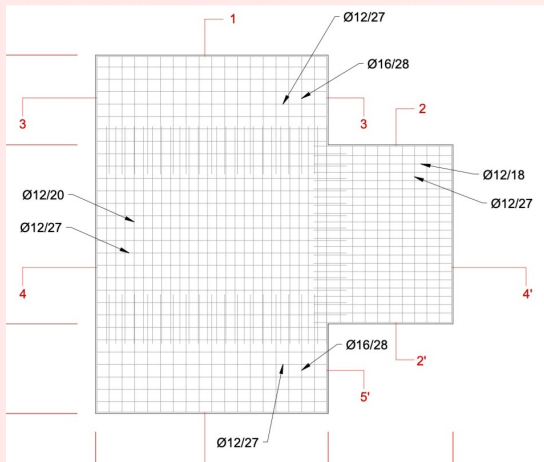
筆者について

- ・ 留学先での研究テーマ：「確率的手法に基づく表面被覆工を施したRC構造物の塩分浸透モデリングと耐久性予測」
- ・ 同大学の博士後期課程への進学を見据えて、人脈作りと志望研究室での共同研究を目的に今回の留学を計画。
- ・ B4時にも、イタリアのポローニャ大学で半年間の交換留学。

イタリア滞在録_ (後編)

<期末課題と試験>

- レポート課題が大変でした。RCshellの設計はペアで70P、センサは個人で50Pに及び学部の実験レポート並にキツかったです。
- 指導教官の担当するRC shellの講義で筆記試験に二度落ちました。博士進学も一時は諦めかけましたが、三度目のラストチャンスで絶望の淵から辛くも生還しました。
- イタリアでは口頭試験が最後の砦として存在します。教授の質問にマンツーマンで答えるのは結構緊張します。



↑ 配筋設計の課題

筆記試験はこのような構造物の応力と変位分布を求めました→



課題と試験勉強を一緒にしてくれた友達。試験終わりの一杯は世界共通で美味しい。

イタリア滞在録_ (後編)

<生活 -冬休み->

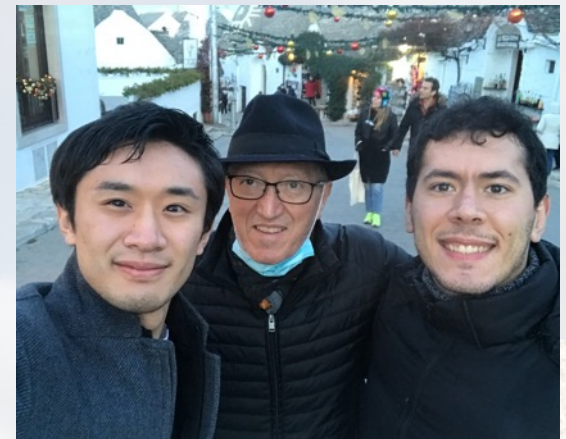
クリスマス前に授業が終わると、試験期間の前に待望の冬休み！！
2週間のバケーション！！



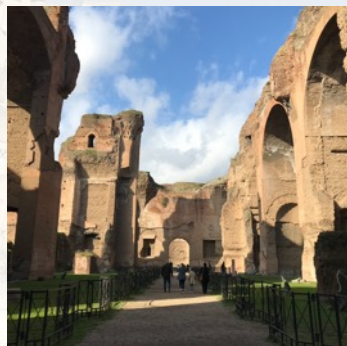
クリスマスは、アルプスを
望んでスノボ！



年末は南イタリアの友達の実家にお邪魔してスロ〜〜ライフ



すべての道は
“ローマ”へ続く！



最後は、
“死にゆく町
チヴィタ・
ヴェツキア”

イタリア滞在録_ (後編)

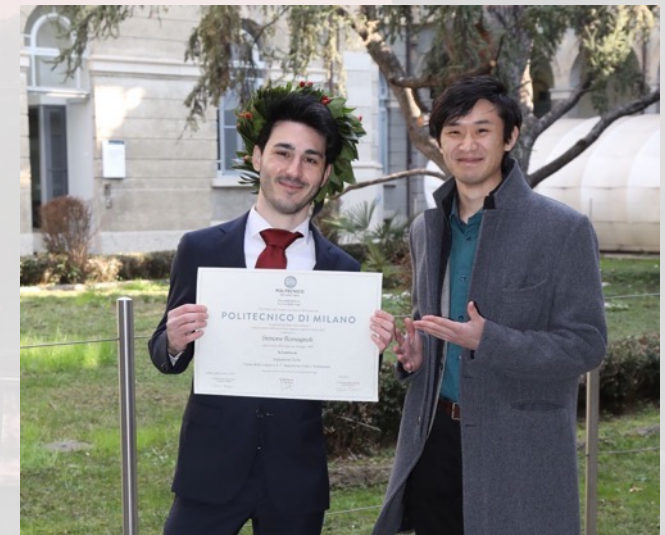
<生活 -年明け～帰国->

- 同居人が陽性になって自宅でマスク生活をしたり、
- 試験を何回も受けてたり、
- 朝5時半に奨学金の面接受けてたり（採用ゲット！）、
- 友達の卒業を祝ったり、
- “帰国後に食べたいもののリスト”を作っていました。



同居人の感染対策マスク！！？？

帰国前日にまさかの寿司。
最初から最後まで良き友で
あった同居人。



卒業式でローリエの冠を被るのが伝統。

<最後に>

博士の準備やコロナ等の様々な困難があるなか、留学をサポートしてくれた方々に心より感謝申し上げます。おかげで、研究をさらに深めて、新しい事にも沢山挑戦でき、学びの多い充実した留学でした！今後の人生で還元に努めてまいります。